

読み書き困難のある児童生徒への 学習支援

後援: 国立大学法人障害児教育関連センター連絡協議会
日本ワーキングメモリ学会発達障害分科会

趣旨

グローバル化の進展など、急速に社会が変化中、次代を担う子どもたちには、幅広い知識と柔軟な思考力に基づいて判断することや、異なる文化や歴史に立脚する人々との共存を図ることなど、変化に対応する能力や資質がより一層求められています。しかし、近年の国内外の学力調査の結果などから、日本の児童生徒には思考力・判断力・表現力等に課題が認められます。こうした課題は言語力に困難のある児童生徒にとってより顕著です。

そこで、本シンポジウムでは、多様な学びの基盤となる言語力のうち、特に読み書きに課題のある児童生徒の学びを保障するために何ができるかを、国内外における最新の知見を基に考えます。



Dr. Karen R. Harris
(カレン R. ハリス)
・アメリカアリゾナ州立大学 教授
・「作文のための自己調整方略開発」について講演していただきます。



Dr. Steve Graham
(スティーヴ・グレアム)
・アメリカアリゾナ州立大学 教授
・「読解のための作文に関する事実」について講演していただきます。



森田愛子先生
・広島大学大学院教育学研究科心理学講座 准教授
・「漢字の読み:音韻情報の役割」について講演していただきます。

日時

2014年12月15日(月) 17:00~20:00

会場

広島大学大学院工学研究院220講義室

プログラム(同時通訳付)

- 17:00-17:10 **主催者挨拶**
池野 範男(広島大学大学院教育学研究科教授 学習システム促進研究センター代表)
企画説明
川合 紀宗(広島大学大学院教育学研究科教授)
- 17:10-17:55 **Self-Regulated Strategy Development for Writing**
Dr. Karen Harris(Mary Emily Warner Professor, Mary Lou Fulton Teachers College, Arizona State University)
- 17:55-18:40 **Some Facts: Writing to Read**
Dr. Steve Graham(Mary Emily Warner Professor, Mary Lou Fulton Teachers College, Arizona State University)
- 18:40-18:45 **休憩**
- 18:45-19:30 **漢字の読み:音韻情報の役割**
森田 愛子(広島大学大学院教育学研究科准教授)
- 19:30-20:00 **指定討論**
川合 紀宗(広島大学大学院教育学研究科教授)

【参加費】無料 どなたでもご参加いただけます。

【参加申込】12月8(月)までに下記のところへお申し込みください(担当:特任助教 費 曉東)。

Mail: higyoto@hiroshima-u.ac.jp または Tel: 082-424-6872 (直通, 内線 6872)

【お問い合わせ】広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター 教授

川合 紀宗 (Mail: nkawai@hiroshima-u.ac.jp Tel: 082-424-7179)